

## 第20回 関門景観審議会 議事要旨

日 時：令和5年10月17日(火)15:00～16:30

場 所：北九州市庁舎 3階 特別会議室 A

出席者：

委 員 安倍 ゆかり、河本 満里、竹内 裕二、中山 淑子、前田 哲男、  
山田 浩史、領家 丘子

(欠席:福島 規子、松尾 伊知郎、安枝 尚美 3名) (敬称略)

事務局 北九州市建築都市局総務部都市景観課

下関市都市整備部都市計画課

### 議事1 関門景観審議会会長の選出

・互選により会長:前田哲男委員が選出された。

### 議事2 「関門シネマティックシティ」の今後の取組み

#### 【「関門シネマティックシティ」の今後の取組み方などについて】

- (委員) 発行したまち歩きマップは、どこで配布しているか。  
また、門司港を訪れる外国人観光客向けの英訳等のまち歩きマップの発行予定はあるか。
- (事務局) 民間のイベントでPRブースを設置し、配布したり、行政の案内所等で配布したりしている。英語版の発行は、検討する。
- (委員) マップ1、2は主にモデルが1人映っているが、年配の方が和気あいあいと会話をする写真等を掲載することで、年配の方もよりマップを手に取りやすいのではないか。
- (事務局) 過年度の実績を踏まえ、若者だけでなく、高齢者にも手に取ってもらえるよう検討する。
- (委員) 唐戸と門司港を往来する渡船の中からの景観や海峡は、両市を近い動線で結ぶルートであるがマップ等で、アピールできていない。景観という意味から少し枠を広げ、関門シネマティックシティの「シネマ」というキーワードのもと、両市のシネマに関連する団体など連携しPRできないか。
- (事務局) 海峡から見る景観も大きな売りであるため、現在作成中の第3弾のマップで対応可能か検討する。  
北九州市では映画等を専門とする部署があるため連携し、PR等していく。
- (委員) サイトの閲覧数や Instagram のアカウント数の数字を見ると、まだ認知度が浸透していない感じがする。全国なのか世界なのか、発信の方針が決まらなると提案する「交流人口、関係人口の創出」へ発展することは難しいと思う。
- (事務局) 現在、コンテンツを作ることに力をいれている段階であり、どう発信するか定まっていない。今後、人気のある観光サイト等と協力、連携

し、情報発信できる仕組みづくりを検討する。

(委員) 関門シネマティックシティの最終的な目標とターゲットは、県外の方を呼び込むということか。

ウォーターフロント、海沿いの景観に対し取り組みをする他の自治体と連携、ネットワークを形成し、特色のある景観の取り組み(ツアーパッケージなど)をするのはどうか。

(事務局) スタートは、若者をターゲットとしていたが、高齢者や県内外への周知等も目的としている。今後は、他の自治体と連携も含め、特色ある景観でターゲットの絞り込みを検討していく。

(委員) 高齢者の旅行が盛んになっているため、旅行会社等の連携をすることで関門海峡のウォーターフロントなどの PR を行えるのではないか。

(事務局) 高齢者への情報発信ツールについて、委員の意見をもとに両市で知恵を絞り検討していく。

(委員) 関門海峡は、大型船など様々な船舶の往来が非常に多く、ほかの地区とは異なる魅力がある。海峡と船がデザインするダイナミックな景観が、マップや映像からその魅力が伝わってこない。

(事務局) 既存のマップでは、身近な視点場が多かったように感じられる。大型船が見せる景観デザインなど、全国にないよさを発信する新しいマップ作り等で検討する。

(委員) 門司港レトロ地区の高い建物や火の山の上から見る関門海峡などの上空から見る景観も魅力的であり、面白いのではないか。

(事務局) 上空からの景観も面白いと思うため、活かしていきたい。

#### 【景観全般(その他)】

(委員) 北九州市は、ウォーターフロントのほか、炭鉱地帯もあるが、北九州市の良好な景観まちづくりの合意形成はうまくいっているのか。

(事務局) 北九州市は、門司地域の海岸の景観のほかに、小倉南区の平尾台等の山の景観もある。さらに、小倉の都心部、黒崎地区、東田地区等、都市景観の形成上特に重要な地区を景観計画の重点整備地区に指定し、きめ細やかな誘導を行っている。

(委員) 経済が発展すると、景観を壊す建設行為が行われる可能性があり、景観誘導が難しいと思われるが、どう考えているか。

(事務局) 景観の保全と活用と相反する部分もあるが、景観行政を行う立場として、景観アドバイザー制度等を活用し、景観誘導に取り組んでいく。